

芝生(コーン)の牧草

あなたの庭に、あなたの街に、みどりの芝生をつくります。芝生は高麗芝で、張芝が普通ですが、西洋芝は牧草をつかい種子をまいて作りますから、経費も安く、手やすく出来ます。芝生に適する牧草は次のものが使われています。

① ケンタッキーブリューグラス (反当五キロ~六キロ位)

冷涼、多雨地帯によく暑熱に弱い。石灰質の土地によい。匍匐し緑色濃く草質軟い。

② ベントグラス (反当三キロ~四キロ)

温暖、多湿の気候によく、土壤はえらばず。匍匐蔓延し、早く芝生となる。緑色や浅く草質軟い。

③ バーミューダグラス (反当三キロ~四キロ)

耐暑性つよく暖地向、土壤えらばず、日陰には弱いが夏枯れせず、匍匐蔓延する。質は中位。

④ チューリングフェスク (反当五キロ~六キロ)

気候、土壤をえらばず、強健、葉は強く強靭でやや粗雑、株になるから密播すること。

⑤ レッドトップ (反当三キロ~四キロ)

湿地向き、土壤をえらばず栽培極めて容易で早く芝生となるが、葉硬く粗。

(数字は芝生のための反当播種量)

果樹園・桑園の草生栽培

果樹園や桑園の表土の流れるのを防ぎ、地力を高めて、しかも飼料もとれるウマイやり方には、次の牧草を下草に作つて下さい。

一年草 (イタリアンライグラス、サブクロバーベー、クリム

赤クロバーベー、ラデノクロバーベー、オーチャードグ

スク、ペレニアルライ、ケンタッキーニードルス

多年草

水田裏作から飼料を生産するには

水田地帯はとかく飼料不足となりやすく、稻ワラ依存のため、家畜の病気が多くなり、飼代がかさみやすいが、水田の裏作や前作を利用して、いくらでも飼料の生産が出来ます。その方法は、

① 水田裏作のまきかた

稻間中まき……稻の立毛中に、れんげと同様に、落水後はらまきする。湿田はだめ、クロバー、ベック、チ、レープ、イタリアン、エンバク、ライムギなどが出来ます。

② 耕起畦立まき……稻刈後、畦立して普通作物と同様につくります。こうすれば、前記の作物のほかに

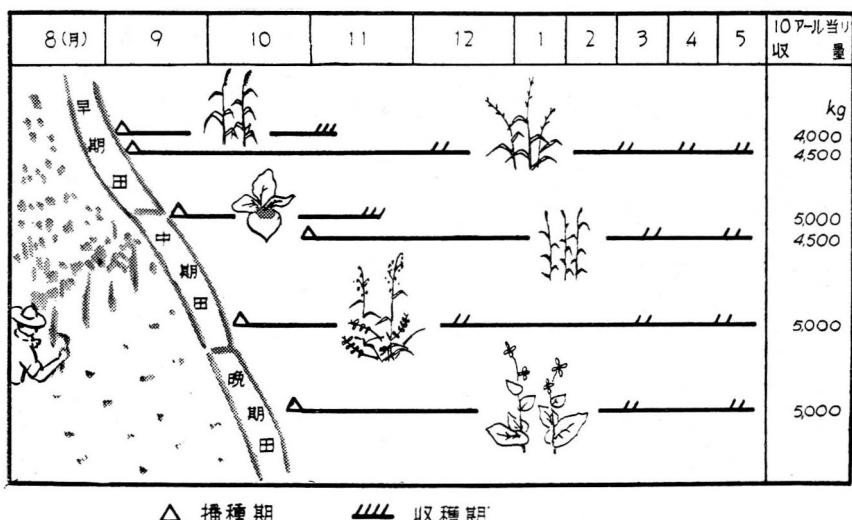
デントコーン、ひまわり、かぶ、ルタバガ、ケールなどをつくることが出来ます。

早期稻と飼料作物

稻の早期栽培をみると八月中旬には刈りとりますからあととの期間は大抵の青刈作物をつくることが出来ます。稻作期間と飼料作物の栽培の関係は、下の図を御覧下さい。

田畠輪換と飼料作物

稻の生産の不安定な地帯、秋落ちするような老朽田、あるいは、労力的に不足するときなど、思い切つて水田を一年~二年間、畠に還元する、いわゆる「田畠輪換」も飼料つくりには、うつてつけです。こうすれば、大抵の飼料作物がつくれます。理想的には牧草を混播して多収穫をやりたいのです。あるいは、青刈作物の多毛作をやることも出来る訳で、こうすることにより、飼料が生産され、地力が回復し、労力も又節約されるのです。



水田裏作の飼料栽培図